

予報期間 5月7日から5月13日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 9日は、高気圧が日本の東を東へ移動する。低気圧が黄海から朝鮮半島付近へ進み、前線が西日本付近へのびる。
- 10日は、低気圧が日本海を北東へ進み、前線が日本付近を東進する。
- 11日から12日は、低気圧がサハリン付近からカムチャツカ半島へ進む。前線が日本の南から沖縄付近へのびる。
- 13日は、日本付近は高気圧に緩やかに覆われる。

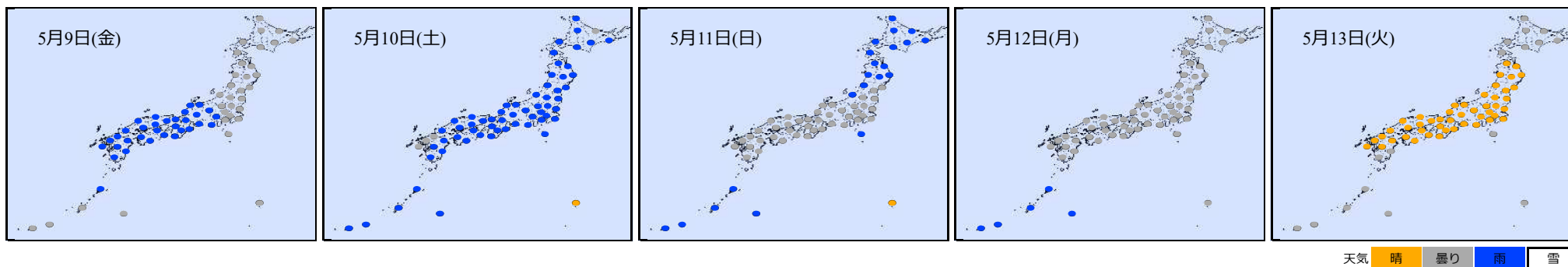
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 9日から10日にかけて、低気圧が日本海へ進み、前線が日本付近を通過する見込み。低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、西日本と東日本太平洋側を中心に大雨となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

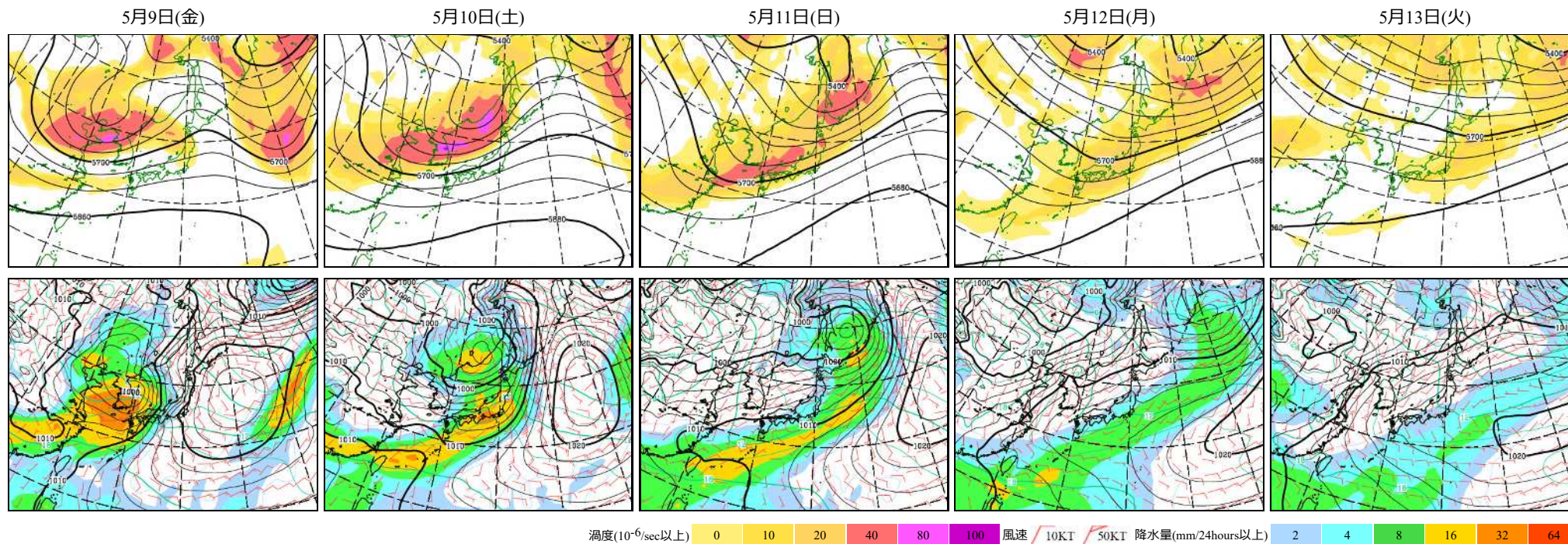
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

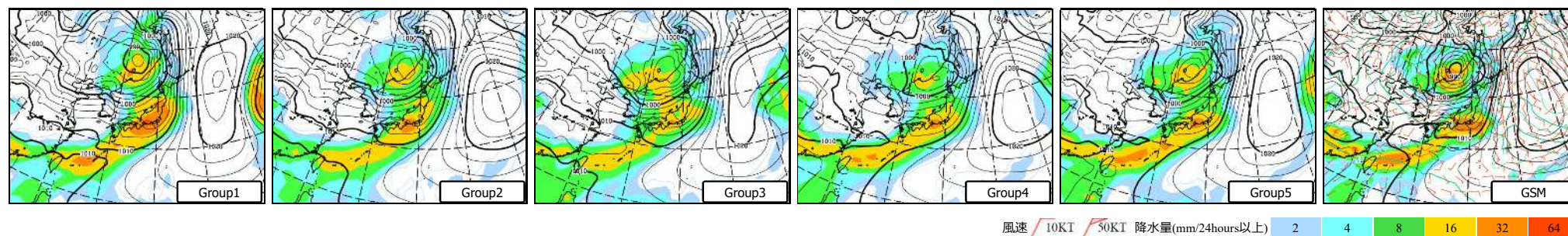


- 北日本は、曇りや雨の降る日が多いが、13日は晴れる所がある。
- 東日本と西日本は、9日と10日は雨の降る所が多いが、11日以降は曇りまたは晴れとなる。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆5月10日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、初期値変わりは比較的小さく、降水確率の変化も小さい。
- 各モデルとも、9日から10日に前線が西・東日本付近を東進する予想や、10日から11日に低気圧が日本海からオホーツク海へ進む予想はおおむね揃ってきた。
- スプレッドは比較的小さいが、期間の終わりは日本付近の5700mの特定高度線にばらつきが見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。